

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーケー株式会社寒川物流センター新築工事(ドライセンター)	階数	地上4F
建設地	高座郡寒川町小谷二丁目552番4の一部、753番1の一部、宮山1050番32の一部	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,878時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年8月31日
敷地面積	34,613 m ²	作成者	株式会社大本組東京本社一級建築士事務所
建築面積	17,177 m ²	確認日	2016年8月31日
延床面積	35,449 m ²	確認者	株式会社大本組東京本社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 96%
③上記+②以外の 96%
④上記+ 96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.7
温熱環境	2.2
光・視環境	2.1
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	2.8
耐用性・信頼性	3.5
対応性・更新性	3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	3.8
効率的な運用	2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.8
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化への配慮	3.1
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	神奈川県高座郡に計画される物流センターである。外皮性能の向上、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮している。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・外皮性能を高めて室内の温熱環境向上を図っている。	・外壁材に金属断熱サンドイッチパネルを採用し、耐用性向上を図っている。 ・免震装置を導入し、地震対策を行っている。	・敷地周囲に緑地を計画し、良好な景観形成を目指している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外皮性能を高め、環境負荷の低減を図っている。	・LGS工法、OAフロアの採用により部材の再利用可能性向上の取り組みがある。	・燃焼機器を使用しておらず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される